

枚方市駅周辺再整備に関する市民説明会 質疑応答（概要）

■日時：令和5年7月21日（金）18：30～20：30

■場所：菅原生涯学習市民センター ホール

※市民説明会において、市からの説明後に行った質疑応答の概要をお示ししています。

なお、記載内容には、当日ご参加いただいた方からのご質問の他、今後の取り組みに向けたご意見としてご発言いただいたものも含まれています。

【ご意見・ご質問】

- ・大型開発はやめて、寝屋川市・高槻市・交野市が実施している「おでかけ応援制度」を実施してほしい。
- ・大型開発で907億円使うより、おでかけ応援制度に1.4億円かければ、京阪バスに100円で乗れる。

【市の説明】

- ・様々な事業の中の一つとして、今いただいた意見も踏まえ、市政運営を行っていきます。

【ご意見・ご質問】

- ・老朽化した危険な市役所の建て替えは、市民会館跡地で早期に行うことで、市民の安全性を生み出し事業費も安価にできる。
- ・防災空間、広場空間という抽象的表現はあるが、災害から命と財産を守る浸水対策をどうするのか具体的なものが示されていない。
- ・今年も全国各地で線状降水帯が発生し、いつどこで豪雨が発生しても不思議ではない。枚方市では排水ポンプの増設などの対策は行っているが、東京都の再開発での雨水対策事例と比較すると脆弱である。
- ・地下に大規模一時雨水貯留槽を設け、地震災害時には仮設住宅を建てられる大規模空間の設置を求める。
- ・雨水豪雨対策について市の計画を具体的に聞きたい。

【市の説明】

- ・一時避難地の指定は1万㎡を超える公園や広場などを指定するもので、今回、整備するみどりの大空間についても、その指定も視野に入れて考えていきます。
- ・市駅周辺の浸水対策として、令和2年に新安居川ポンプ場において、毎分520㎡の処理能力を増設する改修を完了しています。

- ・市域全体の浸水対策については、南中振や楠葉では雨水貯留管の整備等に取り組んでいます。天野川については、100年に一度発生する雨量に対する河川改修が大阪府により実施されています。引き続き、雨水・浸水対策に取り組んでいきます。

【ご意見】

- ・ゆとりのあるまちとのことだが、ごちゃごちゃした落ち着きのないまちになるのではないか。
- ・メセナの催しについても、昔は駐車券が出ていたが、お金がかかるようになって、嫌な感じになった。

【ご意見・ご質問】

- ・新庁舎の市駅からの距離は⑤街区で500m、市民会館跡地で150m、この差は高齢者や障害者にとっては大変である。地方自治法に、市役所の位置は最適な場所を選ばなければならないとあるが、計画との整合性を説明してほしい。
- ・6月12日の全員協議会でワンストップ窓口はできないという話だった。その説明をしてほしい。

【市の説明】

- ・地方自治法により、交通の事情、他の官公庁との関係について適当な考慮を払うことになっていますが、これは様々な事情を含めて合理的に判断をすべきという趣旨であり、⑤街区への庁舎移転は、枚方市駅からそう遠くない合理的な範囲であると理解しています。
- ・また、宮之阪駅から近くなり、地域の幹線道路にも面しており、官公庁団地というバス停もあることなど、法律に抵触するとは考えていません。
- ・現在、整備中の③街区の複合施設に可能な限り市民にとって利便性の高い市民窓口を設置し、健康や福祉に関する相談が本庁の職員とオンラインで受けられる状況を目指します。
- ・転入手続については、現在、国からは対面での本人確認が必要と示されているため、③街区のワンストップ窓口では取り扱うことができない状況です。しかし、将来的にはオンライン化を考えていくことも示されており、国の動向を踏まえて進めていきます。
- ・③街区に市民窓口を設置するだけでなく、支所などの市民が身近なところで申請手続や相談ができる体制づくりについても新庁舎の移転までに検討していきます。

【ご意見】

- ・現在、ラポールひらかたは空調が使えなくて休館になっているが、5、6年も前から空調が不調でも、メンテナンスをしていないと聞いている。休館となる事態を招かないようにお金をかけるべき。
- ・コロナは5類に移行したが、最近、また増えてきている。その状況の中、厚生労働省が示す検査頻度や方法とは異なる対応を枚方市は行っていると聞いている。市民の命、暮らしを大事に守ってほしいのに、今の市政は問題である。
- ・高齢者が自由に外出でき、元気になれば、健康寿命は延びる。高齢者が元気で、長生きできるようにしていくのが市政だと思う。
- ・企業の提案だけでなく、市民の提案を受けないといけない、市民の方を向いて仕事をしているのか。
- ・庁舎が老朽化で外壁が落ちるような危ない状況を放置して、建て替えにまだまだ時間がかかることを考えるよりも、市職員、市長は今の私たちの生活が本当に豊かになっていくことに、一番頭を割いて考えてほしい。

【ご意見・ご質問】

- ・民間へ売却する市庁舎や市民ホールの土地については、想定としてフィットネスクラブ、医療施設、マンションなどがあがっていたが民間は営利優先であるため結局、豊かな人をターゲットにし、庶民に手が届きにくい施設になっていくと思う。
- ・民間に払い下げること自体が間違いで、一部を手放してしまったら戻すことはできない。我々市民のための財産として、市民の意見を十分くみ取り、何に活用すべきかを根本的に考えてもらいたい。

【市の説明】

- ・市駅周辺は非常に付加価値の高い土地であり、有効活用していく必要があると考えています。市駅周辺再整備の中において民間活力の導入先として、市民会館の跡地が最適であると考えていますが、様々なご意見や視点を踏まえながら、引き続き検討していきます。

【ご意見・ご質問】

- ・現在、枚方には子育て世代が多数入ってきている。市駅周辺には学校が少ないがタワーマンションが多くできると、子育て世代も集まることから、小学校を整備しないと教育環境、子育て環境としてはよくない。子育て世代のことを考えているのか。
- ・年配者は、なじみの物や目印となるものがあって初めて安心して行動できるが、新しいまちになって変わってしまうと、多くを占めている高齢者世代が行けないまちになってし

まう。

- ・我々は市民でもあり国民でもある。日本は赤字財政であり、国が出す補助金であっても貴重な税金を使うことにはかわりない。安易なスクラップ&ビルドではなく、今あるものを残しながら、高齢者が行っても安心して行けるようなまちにしてほしい。

【市の説明】

- ・当該地区は、枚方第二小学校校区ですが、少子化の流れで空き教室もあるため、施設的な問題はないと捉えています。
- ・ウォークアブルなまちづくりを表明しており、若者だけでなく高齢者を含め誰もが来やすい公園、広場を目指しており、今後具体化を図っていきたいと考えています。
- ・市の財政状況を踏まえ財源確保の観点から国費を充てたいと考えています。今回のまちづくりについては民間活力も導入し、民間の知恵・資金や活力、国の支援、これらを総合的に取り入れながら進めていきます。

【ご意見】

- ・みどりの大空間について民間活力を導入し、有料の施設ができると、高額な料金を払わないと良い遊具で遊べないのではないか。公園を金儲けの手段にする行為になりかねない。
- ・枚方はヒートアイランドでかなり暑い、高層マンションが建てばさらに暑くなる。芝生だけではなく広場に樹木を植えれば地球温暖化を緩和していくことになる。民間に依存せず市独自で実施してほしい。
- ・枚方駅前にはマンションを建てるので、不便なところから移り住むようにという考え方がまちを潰していく。みんなが都市へ行くと、穂谷など自然豊かなところが崩壊していく。利便性が悪いところは市が交通網を整備し、移動の自由を確保することで、豊かなまちづくりになり、若者たちも集まり、住みやすいまちになると思う。

【ご意見・ご質問】

- ・定住人口の減少について、これは枚方だけの現象か。人口減少の原因は何か、またそれをどう考えているのか。
- ・現在の枚方市は非常に生活がしにくい、いいまちに住んで、安心安全が確保できて生活しているという実感が持てない。駅前開発は、人口が減っている中で、改めてにぎわいを取り戻していくということの整合性や合理性があるのか。

【市の説明】

- ・人口減少は全国的に進んでおり、枚方市も同じ現象になっています。出生数、出産年齢層の女性数が減少し、高齢化が進んでいることが原因と認識しています。
- ・人口減少の中で、このままでは税収は減少し、社会保障費や医療費は増加することになり、住民サービスの縮小もあり得る状況となります。住民サービスを維持・発展させていくには経済活性化は必須で、持続可能な発展を目指すためにも市駅周辺再整備が必要と認識しています。

【ご意見・ご質問】

- ・枚方に住んでいて子育てしやすいと実感したことはない。買物もあまりしないので、商業施設ではなく、お金を使わなくても遊べるようなところが欲しい。
- ・市駅に出るのに往復の交通費がかかるので、用事がなければ行かない。⑤街区庁舎の方が回遊性があるとのことだが、③街区に窓口があるのであれば用事を駅で済ませて回遊せず帰るということもある。また、宮之阪から近くなるなら、結局市駅前に行かないのではないか。なぜ回遊性につながるのか疑問。
- ・資料にある市民意識調査の「枚方市駅周辺が賑わい、魅力あふれる中心市街地であると感じていますか」というものがあるが、そもそも、「にぎわい」は誰が求めているのかということが疑問。例えば「枚方市駅周辺がにぎわってほしいですか、魅力あふれる中心市街地であってほしいですか、そのために税金をたくさんかけて、市有地を売って大規模な駅前再開発をしてほしいですか」といった質問に対する結果を示してほしい。
- ・あまりお金を使わないようにしているミニマリストが流行しており、そもそも買い物に行かないという考えが時代的に出ていることも考慮してほしい。

【市の説明】

- ・いろいろな都市機能が枚方市駅周辺にあれば、人が集まり、動いて、経済が活性化されるということが回遊性と考えています。
- ・アンケートにおいて、枚方市駅周辺ににぎわいが必要かという聞き方でなく、このまちづくりをすることによりまちに活気やにぎわいが出ると思うかという質問をしており、ウェブアンケートの結果については約 1,100 人の回答があり、にぎわいが出ると思うとの回答は 47%でした。「事業費をかけてここににぎわいは必要か」という設問設定については、今後の調査のため、ご意見としてお伺いしておきます。
- ・市民会館跡などの区域に民間活力を導入してにぎわいを生み出していき、それによって回遊性が高まると考えています。基本的に土日祝は閉庁となる庁舎があるより、土日祝を中心にウォーカブルなまちを目指していくため、この場所には民間のにぎわい施設が必要だと考えています。

【ご意見】

- ・庁舎跡とか大ホール跡に民間活力を導入すると、タワーマンションや大型商業施設が建つ可能性もあり、②街区も高層の建物が建つ可能性がある。一旦建設されてしまうと、少子化により、商業施設に人が来なくなった場合どうするのか。簡単には建て替えられない。将来の人口減の見通しをもってまちづくりを考え直さなければならないのではないか。
- ・DXが進むので庁舎は遠くになってもいいとのことであったが、AIとかDXとかパソコンを使える人はいいが、使えないお年寄りや障害者の方が排除されてしまう可能性がある。市役所というのは、いろいろな相談に行くところであり、画面を通じてではなく、実際に顔を合わせて話しできる職員がいてこそその市役所である。やはり駅から近い場所に必要だと思うし、そういうことも考えた庁舎の在り方というのをきちっと考えてほしい。その上でDXも活用するのはいいが、DXがあるから大丈夫という乱暴な言い方はよろしくないと思う。

【ご意見・ご質問】

- ・907億円の事業費で市負担は373億円の大規模事業、これが財政力に見合っているのか、将来の財政は大丈夫なのかということを議会、市民に納得できるようにすべきではないか。また、財政調整基金は50億か40億になっており、行政改革で金を生み出すという話を聞いたが、財政的に非常に不安のある事業ではないかと思う。

【市の説明】

- ・令和3年度の決算では約25億円の黒字であり、開発でお金を使うため減ってはいくが、シミュレーションでは令和16年度でも14億円の黒字を保っています。実質収支、財政調整基金、実質公債費比率、それぞれにおいても健全性を保持できるという試算です。基本計画では開発が財政健全化のもとで進められるよう、4つのステップを設け、それぞれのステージにおいてその都度、財政の健全性を確認したうえで進めていきます。
- ・枚方市の財政規模であれば、財政調整基金は少なくとも70億円ぐらいは必要だろうという認識であり、市駅周辺再整備を進めていくと、令和16年ぐらいには、約70億円をやや上回るという状況です。毎年の収支状況を見ながら財政運営の健全性をしっかりと守っていきます。